

ローマンシェード

CRドラム ツインワンチェーン

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

※本書は、お買い上げいただいた製品を正しく安全にご使用いただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

●本書では、表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置、取付け方法は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- 製品は、水平に取付けてください。



■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

警告

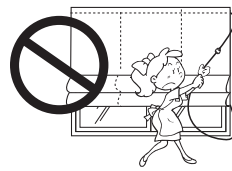
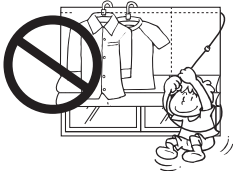
- ⊘ 子供は思わぬ行動をとります。大人の常識は通用しません。お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。
- ⊘ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ⊘ 小さなお子様がいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くに、ソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。
- ❗ 操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でボールチェーンを束ねて、コードクリップで留めてください。
- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



日本ブラインド工業会

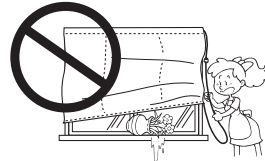
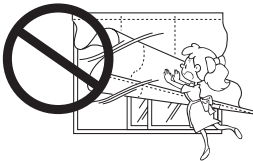


日本ブラインド工業会



注意

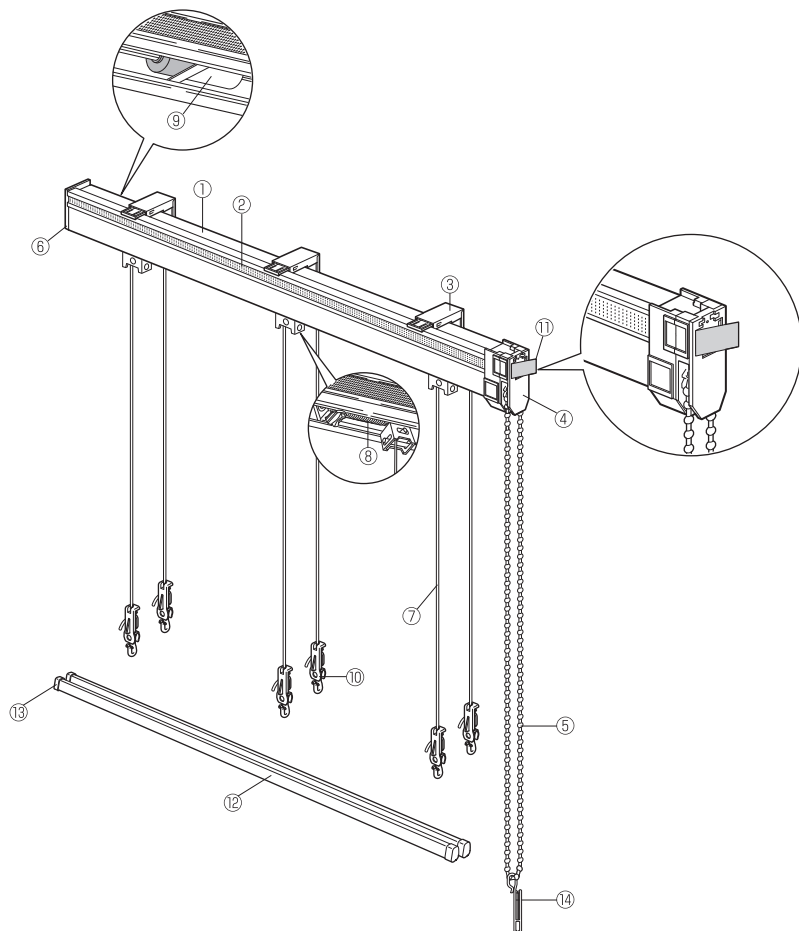
- ❗ 必ず操作コードまたはボールチェーンを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行うと、製品の破損や故障の原因になります。
- ❗ 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。
- ⊘ 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- ❗ 加湿器は製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと、水道水のミネラル成分等が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因となる場合があります。



製品全体図及び部品名称

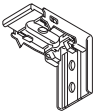

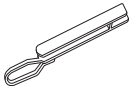


部品名

- | | | |
|------------|--------------------|---------------|
| ①ヘッドレール | ⑥キャップ | ⑪リターン (使用時のみ) |
| ②挿入式面ファスナー | ⑦昇降コード | ⑫ウエイトバー |
| ③ブラケット | ⑧巻取ドラム | ⑬ウエイトバーキャップ |
| ④プーリーセット | ⑨スピードコントローラー | ⑭コードクリップ |
| ⑤ボールチェーン | ⑩コードアジャスタセーフティータイプ | |

※幕体は記載しておりません。

■ 付属部品

<div style="text-align: center;">部品名</div> <div style="text-align: center;">製品幅 (mm)</div>	<div style="text-align: center;">ブラケット</div>  <div style="text-align: center;"><正面付け・天井付け共通ブラケット></div>	<div style="text-align: center;">ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)</div> 	<div style="text-align: center;">コードクリップ</div> 
	~1000	2個	2本
~2000	3個	3本	
~3000	4個	4本	
~4000	5個	5本	

■ 製品重量

5Kg (プレーン+プレーンスタイル 幅 2000mm× 高さ 2000mm の場合)
 ※スタイル、幕体の種類により製品重量は異なります。

製品の取付け/取外し方法

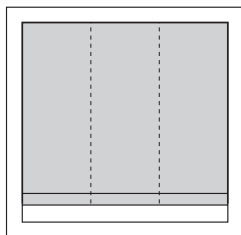
⚠ 注意

- ⊘ ヘッドレールの溝を持ったり、ヘッドレール内の部品を押し込まないようにしてください。
- ⊘ 付属部品のネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

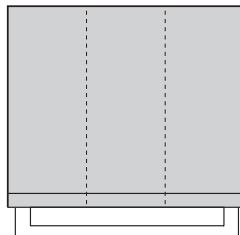
<天井付け>

窓枠の内側に取付ける方法



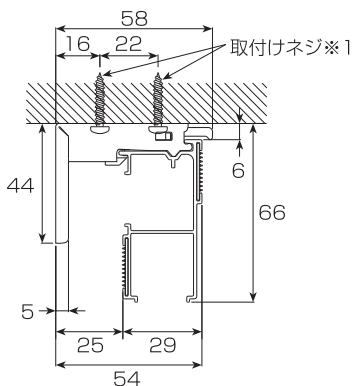
<正面付け>

窓枠の外側に取付ける方法

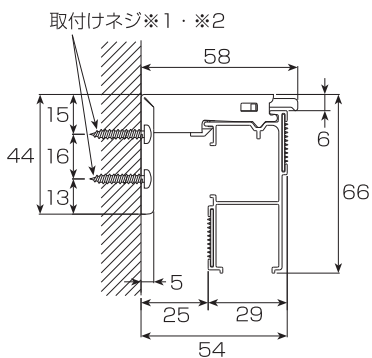


■ 取付け寸法図 (mm)

<天井付け>



<正面付け>



※1 取付けネジは下地位置の状況に応じて図のどちらかの位置に取付けてください。

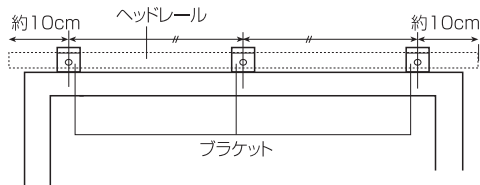
※2 幅が2010mmを超える製品を正面付けする場合は、ブラケットの上のネジ穴で固定してください。

注意

❶ ブラケットの取付け位置を必ずお守りください。製品が故障・落下する恐れがあります。

■ ブラケットの取付け位置

- ❶ ブラケット取付け面が水平であることを確認してください。
- ❷ 両側のブラケットは、ヘッドレール両端から約10cmの位置に取付けネジ（ナベφ3.5×20）で取付けてください。



※ 製品幅1010mm~の場合は、ブラケットが3個以上必要となりますので、それぞれ等間隔になるように取付けてください。

■ ヘッドレール（本体）の取付け / 取外し方法

<取付け方法>

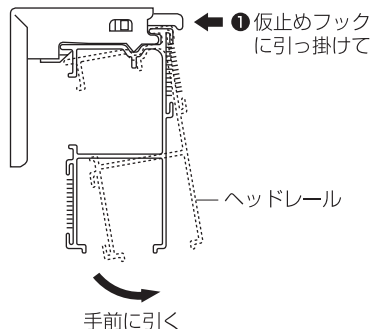
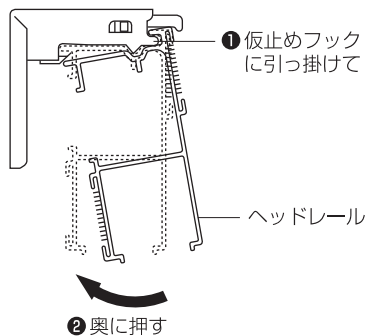
- ❶ ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ❷ ヘッドレールを奥に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。

注意

- ❶ ヘッドレール取付け後、確実にヘッドレールがブラケットに固定されているか確認してください。

<取外し方法>

- ❶ ブラケットの解除ボタンを押しヘッドレールを手前に引いてください。
- ❷ ヘッドレールを仮止めフックから外してください。

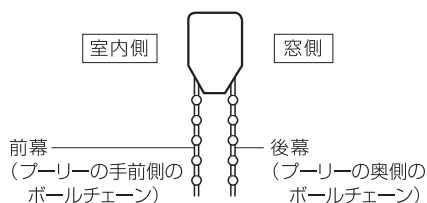


⚠ 注意

- 次の操作は部品が破損し、昇降動作ができなくなる恐れがあるため、おやめください。
 - ▶ 幕体、ウエイトバーを直接手で引く操作。
 - ▶ 幕体を一番上まで上げ切った状態で、さらにボールチェーンを強く引く操作。
 - ▶ 勢いよく幕体をたたみ上げ切る操作。
- ❗ 幕体を降ろす時は必ずボールチェーンに手を添えて操作してください。
- ❗ 幕体が下降している間に、ウエイトバーがボールチェーンに引っ掛った場合は、ウエイトバーの引っ掛り部をチェーンから外してから、幕体を降ろしてください。
- ❗ 前幕がたたみ上げられた状態で後幕を降ろす場合、前幕に引っ掛けて下らない恐れがあります。一度前幕を少し降ろしてから後幕を操作してください。

前幕・後幕の識別

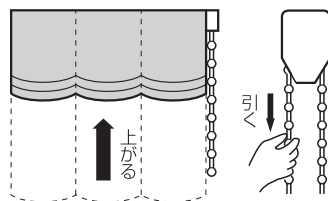
- 前幕の昇降操作はプーリーの手前側のボールチェーンで行います。
- 後幕の昇降操作はプーリーの奥側のボールチェーンで行います。



■ 幕体の上げ方

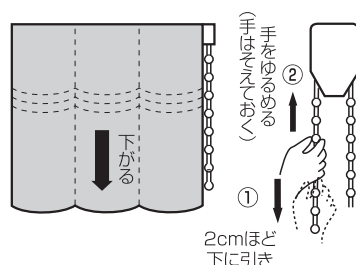
- ① ボールチェーンを下に引いてください。
- ② 途中で止める場合は、ボールチェーンを引く手をゆるめるとストップがかかり止まります。

※幕体上がり切る付近では、幕体を見ながらゆっくりと操作してください。



■ 幕体の降ろし方

- ① ボールチェーンを2cmほど引き①、手をゆるめてください②。(手はそのままそえておいてください。)
- ② 途中で止める場合は、再度ボールチェーンを握り、2cm以上引いて確実にストップが掛かっていることを確かめてから、手を離すようにしてください。



コードクリップの取付け/使用方法

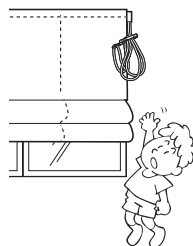
警告

⊘ 小さなお子様がいるご家庭では製品を操作しない時、必ずコードクリップでボールチェーンをお子様の手が届かない位置で束ねてください。束ねない場合、ボールチェーンがお子様の首に巻きついたり、引っかかるなど思わぬ事故につながる恐れがあります。

⊘ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



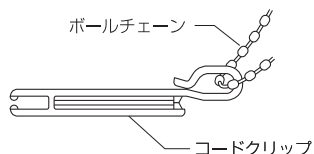
日本ブラインド工業会



● このコードクリップは、ボールチェーンがお子様の首や体に巻きつかないように、危険を回避するための補助部品です。すべての使用下において安全を保障するものではありません。

取付け方法

● コードクリップのフックにボールチェーンを引っかけてください。

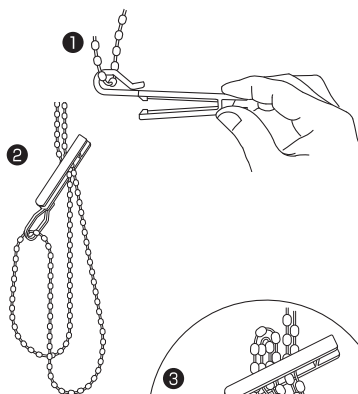


使用方法

① ボールチェーンに取付けられているコードクリップのつまみを指ではさむとクリップが開きます。

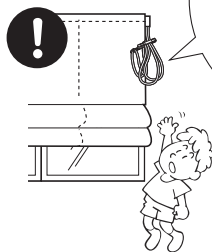
② コードクリップを持ち上げ、クリップを開いてボールチェーンに一旦とめてください。

③ ボールチェーンをお子様の手の届かない高さに束ねてクリップにとめてください。



注意

① 必ずお子様の手の届かない高さに束ねてください。束ねた際は、ボールチェーンがズレ落ちないことをご確認ください。



お手入れ方法

幕体のお手入れについて

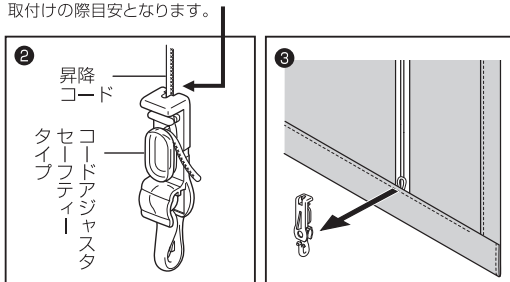
- 洗濯絵表示ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容に従ってください。

■シェード（生地部）の取外し方法

昇降コードを抜き取る前にコードにマークをつけておくと、取付けの際目安となります。

- ① シェードを全て下まで降ろします。

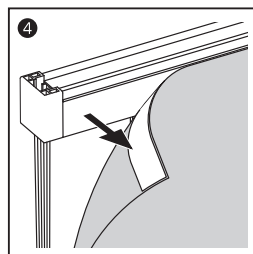
- ② シェード裏面下部のコードアジャスタセーフティータイプに巻きつけてある昇降コードを外し昇降コードを抜き取ってください。
昇降コード全てについて、同様に抜き取ってください。



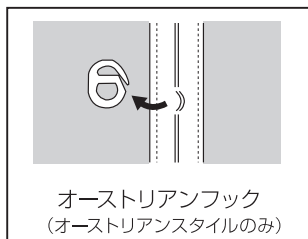
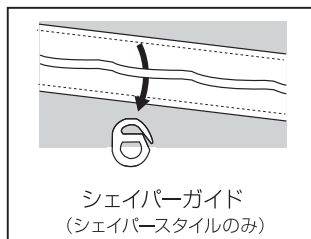
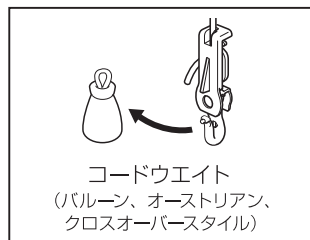
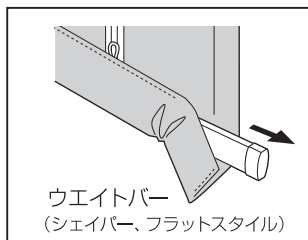
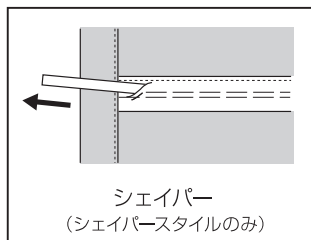
- ③ コードアジャスタセーフティータイプをシェード（生地部）から取り外してください。

- ④ シェード上部の面ファスナーをはがし、シェード（生地部）をフレームから外し取ってください。

※この時同時に昇降コードは各リング（またはフック）から抜けます。
※初期状態で最上部のリングに昇降コードが通っているか確認してください。



- ⑤ シェードについている下図の部品を外してください。

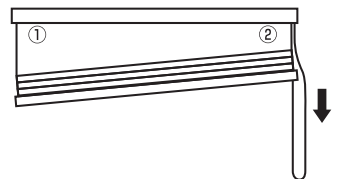


■シェード(生地部)の取付け方法

- ① 幕体取付部の昇降コードを全て降ろしてください。
- ② シェードに組込まれていた部品を元通りにシェードに組込んでください。
- ③ シェード上面の面ファスナーをレールの面ファスナー部に重ね、貼り合わせてください。
- ④ シェード裏面のリングに昇降コードを通してください。
※最上部のリングに昇降コードを通さない場合がございます。
初期状態の通りに戻さないと、昇降の支障になることがあります。
- ⑤ マーキングを目安にコードアジャスタセーフティータイプに昇降コードを取付けてください。
- ⑥ 2～3回昇降テストを行ってください。
片上がり(シェードがななめに上がる)がおこったり、各スワッグが均等に上がらない等が発生した場合は、昇降コードの取付け位置を上下に調整してください。

幕体の左右高さの調整方法

- ① 幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。
- ② 合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。
 - ① 下がっている側のコードアジャスタセーフティータイプに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。
 - ② 上がっている側のコードアジャスタセーフティータイプに巻いている昇降コードを長めに巻き直してください。

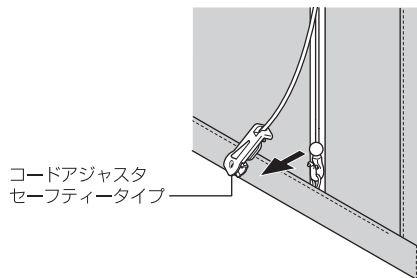


セーフティー仕様について

※セーフティー仕様（安全対策品）を使用しても、事故が完全に回避できるわけではありません。危険性を十分に認識したうえでご使用をお願い致します。

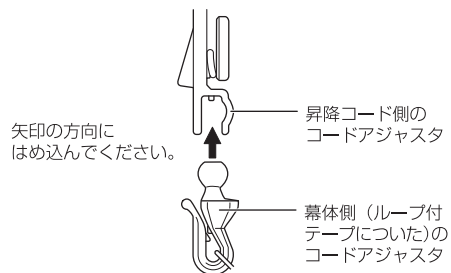
■ 荷重によるコードアジャスタの分離

- 昇降コードに一定の荷重がかかるとコードアジャスタが分離し、幕体から外れます。



■ コードアジャスタが外れた際の戻し方

- 分離したコードアジャスタを図のように元に戻してください。



幕体のお取扱いについて

■伸縮について

お部屋の温度や湿度といった環境により伸び縮みをおこすことがあります。これは素材がもつ特徴ですのでご了承ください。特に、綿・レーヨンを使用しているものは伸縮がございます。

■汚れについて

室内外の塵埃、タバコのヤニや手垢などによって汚れがつかます。汚れを定着させない為にも日常から掃除機やハタキによりお掃除を行ってください。

■汚れがついたら

汚れが付着した場合は即座に拭き取ってください。時間の経過とともに汚れが取れにくくなります。拭き取る際は汚れが広がらないように注意してください。漂白剤、カビ取り剤、消毒液などは使用しないでください。変色・脱色の原因となります。

■においについて

綿や麻のように素材によっては特有のにおいがするものもありますが、無害なものであり人体への影響はございません。また、においは時間とともに薄れてきます。













■たたみシワについて

折りたたんで梱包してありますので、たたみシワが残っている場合がありますが、しばらくするとシワは自然にとれます。ただし素材によっては自然にとれない場合がありますので、シワの部分に低温でアイロンをおかけください。それでもシワがとれない場合はご相談ください。

⚠ 注意

- ⊖ 火気を近づけないで下さい。火災の原因となります。
※防災生地は燃え広がり難い性質をしていますが、燃えないものではありません。
- ⊖ ぶらさがらないでください。幕体が破れたり、製品が落下するおそれがあり危険です。

取扱い表示のみかた

記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	液温は 30°C を限度とし洗濯機で弱い洗濯処理ができる。		底面温度 110°C を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。		ドライクリーニング処理はできない。
	液温は 40°C を限度とし手洗いによる洗濯処理ができる。		アイロン仕上げ処理はできない。		ウエットクリーニング処理はできない。
	洗濯処理はできない。		日陰でのつり干し乾燥がよい。		ウエットクリーニング処理ができる。非常に弱い処理。
	漂白処理はできない。		洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。		石油系溶剤でのドライクリーニング処理（タンブル乾燥を含む）ができる。弱い処理。

おことわり

生地の一部に縫製加工時のマーキング（チャコ/紫色・ピンク）が残っている場合があります。

■ マーキングの消し方

◆ **紫色**（この色は数日程度で消えますが、気になる場合は下記の方法で消してください）

- ① 柔らかい布に水を含ませ軽くしぼります。
- ② マーキングが残っている部分に生地裏側から布を軽く押し当てるように濡らします。
（綿などの縮みやすい素材は濡らしすぎないようにご注意ください）
- ③ 自然乾燥させてください。

◆ **ピンク**

- ① マーキングが残っている部分にドライヤーの熱、またはアイロンの熱を軽くあててください。

※使用部材は予告なく変更する場合がありますが機能性は変わりません。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

本書は、製品のお手入れや、お問い合わせに関する説明・注意事項が記載されております。取付け後も必ず保管してください。

保証とアフターサービス

<無償修理規定>

取扱説明書に記載通りの正常なご使用で万一故障した場合
ご購入日より1年間は無償修理させていただきます。

※次のような場合は保証期間でも有料となります。

- 取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および破損。
- 天災地変（火災、地震、水害、落雷等）による故障および破損。
- 特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障および破損。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。